

平成26年度 社会福祉法人三股町社会福祉協議会事業実績報告書

1. 法人運営事業

(1) 会務の適正な運営並びに事務局機能の充実

① 理事会・評議員会の開催

ア 平成26年5月28日

- ・平成26年度事業報告
- ・一般及び特別会計決算報告
- ・理事、評議員の選任

イ 平成26年9月19日

- ・役員、評議員選出規程（選出基準）の改正
- ・理事、評議員、監事の選任

ウ 平成26年10月1日(理事会)

- ・理事会役員（会長・副会長・職務代理者）の選任
- ・三股町障害者基幹相談支援センター事業説明

エ 平成26年11月26日(理事会)

- ・三股町障害者基幹相談支援センター事業
- ・社会福祉協議会職員採用

オ 平成27年3月27日

- ・定款の一部改正（三股町障害者基幹相談支援センター事業の追加）
- ・新会計基準に基づく経理規程の全部改正
- ・社会福祉協議会事業計画、予算審議
- ・共同募金委員会事業計画、予算審議
- ・日本赤十字社三股町分区事業計画、予算審議

② 県福祉保健課指導監査・・・平成26年7月14日

- ・事業報告、貸借対照表等帳票の審査
- ・定款、規程等の確認
- ・人事、給与等の確認

③ 町行政及び本会との連携

ア 社協のあり方検討委員会の開催

- ・デイサービスセンターの今後のあり方
- ・障害者基幹相談支援センターの設置
- ・職員採用

④ 県社協及び他市町村社協等との連携

- ・宮崎県社会福祉協議会事務局長会議出席
- ・市町村社会福祉協議会職員研修会
- ・宮崎県市町村社協連絡協議会理事会・評議員会出席
- ・高鍋町障害者基幹相談支援センター視察研修

(2) 健全な財務運営のため会計監査機能の充実

① 会計事務所（税理士）による定期監査・・・奇数月に年6回実施

② 監事による監査（年1回）・・・平成26年5月22日実施

(3) 新会計基準への適切な移行

① 新会計基準移行のための研修・事務

- ・平成 27 年 2 月 26 日 新会計基準移行のための説明会（県社会福祉協議会主催）
- ・平成 27 年 2 月～3 月 新会計基準経理規程の作成、勘定科目設定、帳票作成

2. 地域福祉事業

(1) 調査・研究・企画・広報事業

① 相談事業の実施

- ・司法書士による法律相談（毎月第 3 火曜日 年 1 2 回開催）
相談件数 54 件
（相続関係 24 件、土地名義境界 11 件、金融問題 7 件、離婚 5 件、その他 7 件）

② 民生委員・児童委員との連携による住民福祉の推進

- ・赤い羽根共同募金運動推進（戸別募金・企業募金のとりまとめ）
- ・ふるさと祭りでの福祉バザー、福祉うどん販売
- ・敬老の日記念事業
（80 歳・85・88・90・95・99・100 歳以上訪問しお茶配布 585 人）
- ・歳末助け合い訪問
（85 歳以上 1 人暮らし高齢者世帯 170 世帯、81 才以上老夫婦 92 組、
在宅心身障害者 2 級以上 208 世帯、生活困窮家庭、11 世帯、
65 歳以上認知症 3 人）
- ・愛のいたわり訪問事業（ヤクルト配布）
（85 歳以上 1 人暮らし高齢者世帯 176 世帯、在宅心身障害者 2 級以上 210 件、
81 才以上老夫婦世帯 91 世帯）
- ・災害時要援護高齢者実態調査
- ・傾聴講座研修（3 回実施）
- ・地域に支援の必要な人の見守り、行政機関・社協等との連携・仲介

③ 貸出備品による生活及び地域活動支援

（テント 26 件、車椅子 50 件・グラウンドゴルフセット 19 件、
グラウンドゴルフコースセット 13 件、机 29 件、いす 28 件、ほか）

④ 金婚式祝賀会の実施による長寿への祝福

- ・38 組を祝福

⑤ 老人クラブ（さんさんクラブ三股）活動支援による高齢者福祉の推進

- ・社協による事務局機能の充実
- ・エコロジーボランティア in 三股
- ・高齢者交通安全講習会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・高齢者作品の出展（ふるさと祭り、県立美術館）
- ・消費生活に関する講演会

- ・募金運動（赤い羽根共同募金、友愛募金）
- ⑥ 戦没者慰霊祭の実施による遺族福祉の推進
 - ・遺族他参加者数 130名
- ⑦ 職員研修により資質・技能の向上
 - ・54回67人が受講（専門研修、クレーム対応研修、制度改正研修ほか）

(2) 地域福祉推進事業

- ① ボランティアによる活動
 - おしゃべりサロン（月1回）、おもちゃ病院（月1回）、手話活動、施設訪問
布絵本づくり、ふれあいサロン（呈茶）、障害者ふれあいサロン
- ② ボランティアまつり、福祉バザー、エコロジーボランティアほかの実施
- ③ 障害児者連絡協議会活動
 - 研修会、ふるさと祭りへ福祉バザー参加、福祉講演会の実施
- ④ 障害者余暇活動の実施
 - 餅つき、遠足

(3) 地域福祉推進事業（配食サービス事業）

- ① 食事の困難な高齢者への食事の配達
- ② 利用者の安否確認
 - ・利用者実人数 56人 月平均人数 32人 月平均食数 315食 年間 3,778食

(4) 地域福祉推進事業（寝具洗濯乾燥消毒サービス事業）

- ① 寝具類の衛生管理の困難な高齢者、障害者への寝具類の乾燥消毒、汚れ落とし
 - ・利用人数 45人

(5) 福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等判断能力の不十分な方が地域で安心して自立生活を送るため、生活支援員を派遣し生活支援に向けた相談・情報提供・連絡調整・見守り・金銭管理等の福祉サービス利用援助を本人との契約により行う。

- ① 判断能力の不十分な人への福祉サービスの利用援助
- ② 日常的な金銭管理
- ③ 定期的な訪問による生活変化の察知
 - 利用実人数 10人 年間延べ支援時間 397時間

(6) 子育て支援センター事業

- ① 育児不安等について相談指導
 - ・食事、発育、育児、健康、しつけほか 32件
- ② 子育てサークルとの連携による育成
 - ・読み聞かせグループ「大きな木」のおはなし会 12回 322人
 - ・育児サークル「いもんこクラブ」子育て支援活動 12回 287人
 - ・親子ふれあいコンサート「小さな音楽会」「KOMABAN」14回 900人

- ③ 情報交換、交流会の実施
 - ・親子製作（ひな人形、こいのぼり、手作りおもちゃ等） 12回 394人
 - ・その他お茶の会 ほか 32回 625人
- ④ 関係機関等との連携
 - ・宮日母子福祉事業団による子育て講座、親業訓練など 5回 188人
 - ・消防署による救急法講習 2回 52人
 - ・子育て講演会（近隣子育て支援センターと合同） 2回 29人
- ⑤ 子育てだよりの発行（2ヶ月に1回 年6回）
- ⑥ センター延べ利用者数
 - ・保護者等 2,318人、子ども 2,823人 計 5,141人（①～④の数字を含む）

(7) ファミリーサポートセンター事業

- ① 育児援助提供会員・育児援助依頼会員の募集及び登録
 - ・おねがい会員 217人 まかせて会員 57人 どっちも会員 24人
 - ・おねがい会員利用者実人数 15人 預かり回数 年間 354回
 - ・まかせて会員活動実人数 16人
- ② ファミサポだよりの発行（年2回）

(8) 助け合い金庫貸付事業

- 低所得者への不時の出費、自立更正に必要な資金の貸付（限度額5万円）
- ・26年度延べ貸付人数 7人 貸付額 190,000円 償還額 81,000円
 - ・26年度までの貸付人数 20人 貸付額 610,000円 償還額 260,000円

(9) 総合福祉センター管理運営事業

- ① 施設の貸出業務
 - ・延べ利用団体数 982団体、年間延べ利用人数 20,010人、利用日数 300日
- ② 施設内・多目的広場清掃及び除草、屋外トイレの清掃
 - ・施設清掃（職員が週2回）広場・施設周辺草刈除草（職員が随時）
 - ・トイレ清掃（職員が毎日）
- ③ 夜間・休日の会議室等貸出管理
 - ・施設貸出時に随時管理

(10) 在宅高齢者いきがい活動支援通所事業

- ① 介護保険の認定を受けていない虚弱な高齢者等に対する介護予防のサービス
 - ・日常動作訓練、生活指導、健康指導、入浴
 - ・利用実人数 106人 1日平均人数 24人 月平均延べ利用者数 450人
年間延べ利用人数 5,416人
- ② みまたん元気の湯
 - ・65歳以上の高齢者、開館日は土日曜日（稼働日数 85日）、利用料 200円
 - ・利用実人数 150人 1日平均利用者数 15人
1～3月の1日平均利用者数 22人 年間延べ利用者数 1,287人

(11) 生活福祉資金貸付事業（宮崎県社会福祉協議会事業）

- ① 失業や減収等による生活困窮者に対し生活資金、住宅資金、教育資金他の貸付
 - ・ 26年度の貸付なし
 - ・ 25年度までの貸付で償還中 10人

3. 居宅介護等事業

(1) 居宅介護支援事業

- ① 介護保険事業による介護相談の受付
- ② 介護計画（ケアプラン）作成
 - ・ 利用実人数 61人 介護計画作成件数 888件（要支援 104件、要介護 784件）

(2) 障害児者相談支援事業

- ① 障害福祉サービス等を申請した障害者（児）へサービス等利用計画の作成
- ② 支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）
 - ・ 利用実人数 28人
 - ・ サービス等利用計画作成件数 33件
 - ・ モニタリング件数 64件
 - ・ 上限管理 7件

(3) 訪問介護（介護保険）事業

- ① 介護保険の認定を受けた高齢者への居宅へ訪問して行うサービス
 - ア 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
 - イ 掃除、洗濯等の家事支援
 - ・ 利用実人数 43人 月平均利用件数 679件 月平均利用時間数 996時間
 - 年間延べ利用件数 8,142件 延べ利用時間数 11,946時間

(4) 訪問介護（軽度生活援助）事業

- ① 介護保険の認定を受けていない高齢者世帯に対するサービス
 - ア 食事の支度・洗濯・掃除・買い物の便宜供与
 - ・ 利用登録者数 20人 月平均利用件数 7件 月平均利用時間数 34時間
 - 年間派遣延べ世帯数 86世帯 年間利用時間数 409時間

(5) 訪問介護（障害者総合支援）事業

- ① 障害者への居宅へ訪問して行うサービス
 - ア 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
 - イ 掃除、洗濯等の家事支援
 - ・ 利用実人数 9人 月平均利用件数 139件 月平均利用時間数 168時間
 - 年間延べ利用件数 1,664件 延べ利用時間数 2,010時間

(6) 通所介護事業

- ① 介護保険の要介護及び要支援の認定を受けた者に対するサービス
 - 日常動作訓練、生活指導、健康指導、入浴

- ・ 利用実人数 37人 月平均利用件数 345件 年間延べ利用件数 4,144件

(7) 訪問入浴事業

一人で入浴困難な障害者や高齢者を訪問し、身体の清潔保持、心身機能の維持するための入浴の援助

- ・ 利用実人数 7人 月平均利用件数 48件 年間延べ利用件数 579件

(8) 訪問看護事業

① 介護保険及び医療保険により行なう居宅を訪問しての看護事業

- 利用実人数 15人 月平均利用件数 112件 年間延べ利用件数 1,351件

4. 共同募金事業

(1) 三股町共同募金委員会（社会福祉協議会理事と兼務）

- ① 赤い羽根共同募金運動計画協議 H26年10月1日
- ② 共同募金配分審査会配分金の報告 H27年3月27日

(2) 赤い羽根共同募金運動の展開

- ① 民生委員・児童委員との連携による募金活動 H26年10月～12月
- ② 自治公民館への戸別募金の協力依頼 H26年10月～12月
- ③ 学校・保育園・幼稚園ほか施設への協力依頼 H26年10月～12月
- ④ 企業等への法人募金の協力依頼 H26年11月～12月

(3) 共同募金実績

- ・ 募金総額 4,950,011円 募金件数 6,650件

(4) 平成26年度募金運動による平成27年度への配分審査会 H27年3月4日

- ① 県共同募金会への送金額 1,159,000円
- ② 町共同募金会への配分金（一般募金配分金） 2,711,011円、
 - ・ 2,476,000円 55団体（福祉団体他）
 - ・ 235,011円 3事業（ボランティア事業、生活困窮者対策事業、サロン事業）
- ③ 歳末助け合い配分金 1,080,000円
 - ・ 85歳以上1人暮らし高齢者世帯 170世帯
 - ・ 81才以上老夫婦 92組
 - ・ 在宅心身障害者2級以上 208世帯
 - ・ 生活困窮家庭 11世帯
 - ・ 65歳以上認知症 3人

5. 日本赤十字社三股町分区事業

(1) 日本赤十字活動への寄附活動

- ① 自治公民館の協力により各支部を通じて寄附活動を実施 6月から7月
 - ・ 協力費総額 2,434,800円 協力件数 6,087件
- ② 日赤奉仕団による義援金活動 東日本大震災ほか 21,578円

③ 募金箱設置による義援金活動 広島災害義援金 9,279 円

(2) 赤十字ボランティア活動

① 日赤奉仕団の育成、活動支援

現在、町内では8地区壮年クラブ30名が奉仕団として活動しております。

(3) 講習会の開催

① 救急法講習会 3団体実施

(4) 広報啓発活動

① 赤十字活動啓発チラシの全戸配布 6月

② ポスター掲示、のぼり設置（公共施設） 5月～8月

(5) 炊き出し訓練

日赤奉仕団（8地区壮年クラブ）がボランティア祭りで実施

(6) 救護資機材の備蓄、被災者への支給

① 火災被災者への見舞金支給 2万円 26年度は実績なし

② 火災被災者へ毛布・生活用品セット支給 26年度は実績なし